

藻類-藻類食者の関係を考える：統一的な理解を目指して

企画者：土居秀幸（東北大・院・生命科学）・片野泉（奈良女子大・共生科学研セ）

水圏生態系において、藻類と藻類食者の関係は、食物網・物質循環を構成する重要かつ基本的な相互関係であり、様々な水圏生態系において、多くの研究がなされてきた。それらの研究は、各水圏生態系内で成り立つトップダウン・ボトムアップなどの関係の様式に着目して検討したものが多く、しかし、藻類-藻類食者の一般的な関係について理解を進めていくには、各生態系・研究分野での研究から藻類と藻類食者関係の様式やその研究アプローチなどを、互いに理解していく必要があると考えられる。そこで、本自由集会では、河川・湖沼・海洋などの水圏生態系を対象として、様々な分類群・研究アプローチでなされた藻類-藻類食者関係に関する研究事例を紹介する。そして、水圏生態系における藻類-藻類食者関係について、統一的に理解するための研究アプローチについて議論をしたい。

Introduction：藻類-藻類食者研究の現在

片野泉*（奈良女子大・共生科学研セ）・土居秀幸（東北大・院・生命科学）

1. 河川藻類食者の種内資源競争における密度効果

片野泉（奈良女子大・共生科学研セ）

2. 河川空間スケール階層間における藻類食者トップダウン効果の違い

土居秀幸（東北大・院・生命科学）

3. 生物基質上に成立する藻類と藻類食者：アミ-付着藻類-海草の生物間相互作用

長谷川夏樹（北大・院・理学）

4. プランクトンの栄養バランス：生態学的化学量論からみた藻類-藻類食者関係について

牧野渡（東北大・院・生命科学）

5. 栄養塩再供給者としての藻類食者の役割と藻類群集への影響：藻類-藻類食者間相互作用のシミュレーションモデリング研究

加藤聡史*・占部城太郎・河田雅圭（東北大・院・生命科学）

総合討論

コメンテーター：仲岡雅裕（千葉大・院・自然科学）